

## 事例9 HOYA 株式会社

～ 産業医を部門長とする独立した環境・安全衛生・健康管理部門を設け会社の活動を統括 ～

～ CEOと従業員の約束（健康10か条）、レセプトデータと健診結果の突合による受診勧奨 ～

<b>1 企業の概要</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>○光学レンズメーカーとして創業し、現在は、「ライフケア」と「情報・通信」の2つの事業領域において、メガネ、コンタクトレンズ、医療用内視鏡、精密機器、デバイス等を製造・販売するグローバル企業。</li><li>○従業員数は、HOYA 株式会社単体で約 3,000 人、連結で約 3 万 8 千人。</li></ul>
<b>2 健康確保対策の特徴</b>
<p>(1) 取組の体制、経緯、方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○本社に、産業医を部門長とする独立した環境・安全衛生・健康管理部門を設け、HOYA グループ全体の取組を総括。</li><li>○CEOメッセージとして、「健康に関する取り組みは経営上の“投資”である」を明言。</li><li>○CEOと従業員の約束（健康10か条）を結ぶ。</li></ul> <p>(2) 取組の内容、目標設定、成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○グループ内全社共通の基準類を策定し、マネジメントシステム（ISO45001 認証）で運用（メンタルヘルスでは人事、産業医、上司等の役割を明確化）。</li><li>○健診時に健康イベントとして、体組成測定、血管年齢測定等を実施。</li><li>○健保のレセプトデータ（ただし、生活習慣病に限る）と健診結果及び事後措置の情報を突合し、管理不良者（健診結果が「要受診・要精検」）に対し重点的に受診勧奨。</li><li>○血糖値、血圧、血中脂質の有所見率・管理不良者（健診結果が「要受診・要精検」）について、年次推移、事業部、事業所間比較を行い、CEO、事業責任者、人事担当者に報告。</li></ul> <p>(3) 社会的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ISO45001 認証（グローバルマルチサイト方式）を取得。</li><li>○健康経営優良法人 2018・2017</li></ul> <p>(4) 自社の状況（強み・弱み等）を踏まえた工夫や、取組が上手くいくポイント</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○独立した環境・安全衛生・健康管理部門の部門長と、トップマネジメントである CEO が連携し、トップダウンによる安全衛生・健康管理を企画・運営。</li><li>○マネジメントシステムを基に、グローバルに安全衛生・健康活動の PDCA が確実に回るよう、継続的かつ自律的な活動を実施。</li></ul>